

平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果について

この度、平成23年度業務実績に関する評価結果の通知を受けましたので、公表いたします。

本学は、第二期中期目標期間中の基本的な目標として、「地域の『知』の拠点として、地域から期待・信頼されることはもとより、広く社会に貢献すべく開かれた大学として、質の高い特色ある教育と研究を実践して、人類の福祉の向上と世界の平和に貢献する。そのために透明な大学運営のもとで、①学士課程のみならず大学院課程における教育の質の維持・向上と保証に努め、幅広く、深い教養と実践的な専門性を身につけた未来を切り開く高度な専門職業人を養成する。また、②持続可能な社会の形成を促す研究を中心に、光学などの特定分野については極めて高い水準で特色ある研究を推進する。さらに、③自ら築いた教育研究の成果を発信して社会連携機能を高め、地域社会のみならず広く国際社会・国際交流に貢献する積極的な活動を展開し、キラリと光る元気な大学を目指す。」ことを掲げ、中期計画を達成すべく毎年、年度計画を作成し遂行しております。

年度計画は、文部科学大臣に届け出るとともに、各年度の終了後にその年度計画の事項ごとの達成状況に関する「業務の実績に関する報告書」の提出が義務付けられ、それに基づき国立大学法人評価委員会の評価を受けることになっています。この度公表する業務実績の評価は、平成23年度の業務実績に対する同委員会の評価結果です。

年度評価は、業務全体について総括した「全体評価」と事項別に評価した「項目別評価」の2項目からなっており、さらに項目別評価については、「業務運営・財務内容等の状況」と「教育研究等の質の向上の状況」の2項目からなり、「業務運営・財務内容等の状況」については、(1)業務運営の改善及び効率化、(2)財務内容の改善、(3)自己点検・評価及び情報提供、(4)その他業務運営に関する重要事項の4項目を対象に、中期計画の達成に向けて「特筆すべき進捗状況にある」、「順調に進んでいる」、「おおむね順調に進んでいる」、「やや遅れている」、「重大な改善事項がある」の5段階で示されます。また、「教育研究等の質の向上の状況」については、特筆される点や遅れている点について評価されます。

本学は、業務実績報告書の「全体的な状況」において、「教育研究等の質の向上の状況」及び「業務運営・財務内容等の状況」について、本学の特色ある取組を記載するとともに「業務運営・財務内容等の状況」に関する事項(1)～(4)の年度計画については全て「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と自己評価していますが、国立大学法人評価委員会の評価結果においても同様に、「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」として「中期目標の達成に向けて順調に進んでいる」と評価されました。

なお、平成23年度評価においては、東日本大震災からの復旧・復興等に向けた取組についても評価されています。

詳しい評価結果は、別添の[「国立大学法人宇都宮大学の平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果\(国立大学法人評価委員会\)」](#)をご覧ください。

本学は、教育の充実、研究の発展、社会貢献の展開のため更なる努力を続けて参りますので、今後とも皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成24年11月8日

国立大学法人宇都宮大学長 進村武男

(参考)

- ・ [東日本大震災からの復旧・復興等に向けた国立大学法人等の取組](#)
- ・ [国立大学法人等の平成23年度評価結果について](#)
- ・ [国立大学法人・大学共同利用機関法人の平成23年度に係る業務の実績に関する評価の概要](#)
- ・ [【平成23年度評価】国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況](#)